

# 学科長あいさつ

学生の皆さんへ  
新学期がはじまったと  
いうのに、それを実感す  
るのが難しいと感じてい  
る学生が多いかもしれません。授業開始が遅れて  
いるのだから無理もあり  
ません。

連日、テレビやラジオは新型コロ  
ナウイルスの感染状況を伝えるニュースで  
溢れています。そして、そのことが私たち  
の大学での学びにも大きく影響していま  
す。

北海道も感染者の多い地域の一つです  
ので、不要不急の外出の自粛などが学生の皆  
さんには大きなストレスとなっているかも  
しれません。さて、こんな中で私たちはど  
のように学ぶ意欲を維持していくといよ  
うでしょう。

一つはストレスの源へ向かっていく方法  
ですね。聞くところによると「ペスト」と  
いう本がかなり売れているようです。感染症に人類がどのように立ち向かったのか、確認しようとい  
うのでしょう。

もう一つは感染の問題から離れて気分転換する方法ですね。これもネット上でさまざまリフレッシュ方法が紹介されてい  
ます。自分にあった対処法を見い出して、なんとかこの苦境を無事に乗り越え、大学で共に学べる日が来るのを楽しみにしています。



4月からリハビリテー  
ション学科長になりました。

今年度は新入生が  
121名と大所帯になり、  
教室配置、講義ごとの  
クラス分けなどに苦労



今年は異例づくしの新  
学期となりました。新型コ  
ロナウイルスはなかなか  
治まる気配がありません。

しかし、自宅学習の形  
で勉強は進めていきます。  
大学生活は、専門の勉  
強は勿論ですが、社会人として重要な豊かな  
人間性や教養を身につける時です。



志と同じにする仲間が多いことは心強  
いと思います。たくさんのつながりを作つ  
て、学生生活を楽しいものにしてほしい  
と思います。

他の学生とも交わり体を鍛え、色々な事に  
挑戦してみることができる唯一の機会です。

これは、器の大きな人格を育て人間の魅力

につながります。

目標を持って有意義な学生生活を過ごしま  
しょう。

リハビリテーション学科長 向井 康

診療放射線学科長 渡邊 良晴

本学は教員と学生の距離感が近いこと

が特徴の一つです。皆さんことを学生  
といふより後輩と思って接していくとい  
思っていますので、先輩を頼るような気持  
ちでなんでも聞いてください。

看護学科長 吉野 淳一



# 学生委員会から

「あずまし」は本学創設以来、現在に至るまで学生のキャンパス・ライフを学生、保護者様、そして教職員にお  
伝えするために発刊し続けている手作りのニュースレターです。年間4ページを4回、学生委員会や学友会が主催  
するイベントに合わせて発行してきましたが、第3回学位授与式、第7回入学式に続き、6月までの学内イベント  
が中止となつたため、第25号と26号の発刊もあきらめざるを得なくなりました。

しかし在宅での活動自粛が続く学生たちに少しでも日本医療大学のこれまでの歩みや皆様を見守り励ますメ  
ッセージをお伝えしたいと、予定の内容を変えて、25号・26号の合併号を急遽編集いたしました。印刷用の版組の  
ほかに、貢献のPDF版を今回初めて作成し、Universal Passportで配信をしました。皆様のお手元におとどけします。

学生委員会委員長 林美枝子



教職員の皆さんのが読み終った本を、学生のために無償で  
提供してもらう『自由文庫』は真栄キャンパスに2ヶ所、恵  
み野キャンパスに1ヶ所設置されています。

誰でも、好きな時に、どこへでも文庫の本を持ち出してお  
読み下さい。読み終わったらもとの棚に返す・・・ルールは  
これだけです。

貸し出し期間はまったくありません。どうしてもその本を  
自分の手元に置いておきたいときは、代わりに読み終えた本  
を一冊ご提供ください。利用に関する詳しいルールは、文庫の脇に設置してある葉をお読み下さい。

本も、葉も大学教職員の心がこもったものです。是非ご利用ください。  
また、『自由文庫』では広く読み終えた本の提供をお待ちしています。真栄キャンパスは図書館まで、  
恵み野キャンパスは事務局までいつでもお持ち下さい。

本の好きな学生で、自由文庫の管理をしたいという方がおりましたら是非お申し出ください。常時  
募集中です。各キャンパスの学生委員の教職員までお気軽にどうぞ。

# 自由文庫

# 日本医療大学キャンパス通信

学生委員会が発行する  
日本医療大学の「今」を伝えるニュースレター

no.25・26

2020.5.1 発行



この度の新型コロナウイルスの影響で、学生  
の皆さんには何かと不自由な日々を送られてい  
ることと思います。特に新入生の皆さんには、自  
らの目標を実現するために本学への入学が決ま  
り、さあと言う時に入学式も開催できなかつた  
ことを残念に思います。

病院、施設、在宅等の現場では、いろいろな  
病気で苦しんでいる患者さんのために多くのコ  
メディカル・スタッフが日々一生懸命に頑張っています。皆さん  
が一日も早くその仲間入りができるよう教職員一同、準備を整え  
ていますので、もう少し頑張って下さい。



日本医療大学総長 島本 和明



日本医療大学 学長 太田 誠

札医大の学長・理事長を経て本学総長に就任  
し、5年目になりました。札医大での経験を活  
かし、看護学科で形態機能学II・IVと疾病論I、  
リハビリテーション学科で内科学、診療放射線  
学科で4年生の基礎医学を教えています。「国  
試全員合格」を目指し、力を注いでいます。

本学は2021年に新キャンパスへ移転、大学  
病院や老人施設も同じキャンパス内にでき、教  
育・医療・福祉の総合地区になります。学生諸君と教職員が一丸  
となり、本学の新たな歴史を紡ぎましょう。

感染拡大が続く新型コロナですが、力を併せて克服しましょう！



日本の高齢化社会を見据え、専門職としての介護人材の育成が大切であると考え、平成元年、この大学の前身で  
ある日本福祉学院を開院し、「介護福祉士」と悩める高齢者の相談事業に対応できる「社会福祉士」の養成を手始めに、  
教育に参入しました。

これからは、心身に重度の障害があつても、住み慣れた地域で生活できるような環境をつくらなければならない、  
そんな時代にしなければならないと考えました。疾病により障害を持ち、車椅子生活になつても以前のように元気  
に生活を送りたい、もとのように歩けるようになりたい、そういうニーズが高まると予想し、リハビリ  
(PT,OT,ST) 人材の育成と、さらには在宅生活を送る高齢者を支える要となるのは看護師であると考え、平成7年  
にその養成に着手。以来、約25,000名の学生を社会に派出して参りました。

平成26年には、長い歴史を歩んできた専門学校の時代にくさびを打ち、学校法人つしま記念学園から日本医療大学に改組しました。  
その後、多くの方々のお力添えをいただきながら大学としての実績を積み重ね、令和3年4月には、真栄キャンパスにある保健医療  
学部看護学科と診療放射線学科、恵み野キャンパスにあるリハビリテーション学科を統合し、さらには、新たに臨床検査学科と臨床  
工学学科を増設します。加えて、真栄キャンパスには医療福祉学部医療福祉マネジメント学科「社会福祉士・保健福祉士コース」  
「介護福祉士指導者コース」「医療ケアマネジメントコース」の3コースの通学課程と、北海道で初めての通信課程を設置します。  
まさに日本医療大学は医系と福祉の総合大学として新たなスタートを切ります。

「新型コロナウイルス」の影響で、今年4月に入学する学生の皆さんが楽しみにしていた入学式が中止になり、また、在校生の皆さ  
んにおいては新年度の登校が出来ない状況が続いています。今、世界中で新型コロナウイルスが猛威を振るい、見えない敵と戦つ  
ています。

地球上に住む全ての人間・人類の英知を結集すれば、必ずやこの困難を乗り越えることができます。その間、大学の学生と、教職員  
がともに助け合い、互いに感染しないよう自身の身、そして、大切な仲間を守りましょう。「朝の来ない夜はありません」安心して暮  
らせる社会に戻るまで頑張りましょう。

学校法人日本医療大学 理事長 対馬 徳昭

# 緊急のお願い

- ① 新型コロナの感染予防のために、以下の行動変容を心がけてください。政府に集められた全国の大学・研究所の専門家が不眠不休  
で罹患者のデータを分析しています。疫学的に科学的根拠のある提案です。
  - ・人が密集する場所には行かない、人との密接は避ける、換気の悪い密閉空間には居ない、3つの密を心がける
  - ・アナログでの他者との接触ができるだけ減らす(緊急事態宣言地域では8割減が目標)
- ② 大学からの各種情報や教員からの授業課題等を受け取るため、Universal Passportを毎日確実にチェックしましょう。
- ③ 将來の医療関係者として、自己の体調管理を怠らないようにしましょう。
- ④ 室内に留まる時間が長くなり、SNS等の利用率が高まることが予想されます。発信は自己責任ですが、他者を誹謗中傷するような  
人権侵害には必ず留意しましょう。

## 学生顕彰 顕彰状授与式

学生顕彰は本学独自の制度で、一年間学修に努力をして成果を示した学生と、社会貢献に尽くした学生・団体を表彰するものです。成績優秀賞は各学科、各学年から成績上位の学生がこれまででは各5名推薦され、4月の第3土曜日に顕彰状授与式に臨みました。第1回の授賞式の対象学生は数名でしたが、年々その数が増え、3学科が完成年度を迎えた2019年からは、2年生から4年生までの3学年×5名×3学科の全45名が受賞するようになりました。

しかも昨年は初めての社会貢献賞も選ばれました。

今年の受賞者は既に決定していますが、授賞式はまだ行われていません。授業が始まり、学生たちがキャンパスに集うようになってから、第6回学生顕彰状授与式を実施する予定です。自分も頑張ろうという意欲をもらうことができる授賞式です。ぜひ開催の日程が明らかになりましたら、多くの学生の参加をお願いいたします。皆でその健闘を称えましょう。



学年が進行することで年々受賞者数は増加し、昨年から全学45名に

## 5月 安心・安全週間

昨今、大学生が犯罪に巻き込まれる事件が増加しています。日ごろから防犯意識を持つことは、被害者になることからも、加害者になることからも学生を守ります。せっかくスタートした大学生活の彩りを消してしまうことのないよう、若者が巻き込まれやすい事件や事故に関する情報を常に認知しておく必要があります。

大学では毎年5月から6月にかけて「安心・安全週間」を設定し各キャンパスで、北海道警察本部や北海道札幌方面千歳警察署の警察官を講師に「護身術講座」を実施していました。毎回2,30人の学生が集まり、いきなり手を掴まれる、後ろから抱き着かれるなどの緊急事態をどうかわせばよいのかを教えていただきました。

また、大学生となり特別に親密な人の交流が増えてくると、必ずと言っていいほど起こってくるのが人間関係を巡るトラブルです。本学ではその中から必ず「デートDVとキャンパスハラスメント、親密な関係での人権侵害について」と題した特別講演を実施しています。夫からの暴力でシェルターに保護された経験を持つ被害者や北海道でDV対応の基礎計画を練った講師が毎年両キャンパスでその防止策や被害者にも加害者にならないための心構えについてお話ししてくれました。学生からは「自分の身はまずは自分で守ることが大切である」、「犯罪被害についての情報収集と日ごろの警戒が重要」といった感想が寄せられました。

また毎年実施してきたのが「20歳になるための学生の年金セミナー」です。突然の事故等で回復の見込みの薄い障がいをうけても、学生特例措置の手続きを怠っていたことで障がい者年金が受給できない等の事態を避けるために、絶対に聞いておくべきセミナーです。



道警のプロによる講座



札幌市年金庁の講師による説明

## 6月 体育大会

### “体育大会の歴史”

日本医療大学の体育大会は、第1回が本学の真栄キャンパスの体育館で開催されました。終了後、清田区内のももせファームでバーベキューの打ち上げ会が開催されました。まだ学生が1学年1学科83名だった創設期だから実施できることでした。



第2回はきたえーるのサブアリーナで。



日本医療大学では新型コロナウイルス対策で4月から6月までの学生が密集する行事・イベントを中止いたしました。実施されなくなったこれらの行事やイベントの様子をこれまでの「あづまし」は皆さんにお伝えしてきました。紙面での雰囲気を味わってもらおうと、蓄積されているアーカイブから写真を選び、その思い出をたどります。

## 4月 入学式

入学式の会場は札幌市教育会館大ホールです。学科の増設とともに、年々入学者の数が増加し、登壇する教員の数も増えました。



早朝、事務局スタッフの準備がはじまります。



入場開始、保護者とともに新入生が受付を済ませます。



初めてのスーツに身を包み、会場に移動しました。



島本総長の挨拶、医療関係者への一步がここに始まりました。



対馬理事長の挨拶、これまでの大学の歴史とこれからの構想を述べます。



入学生代表による宣誓の言葉、学修への意欲が語られ、国家資格を得て専門職として自立する夢が語られました。

## 新入生歓迎会

毎年4月の第3土曜日の新入生歓迎会、第一回は先輩学生がいなかったため、「きのとや」のケーキを教職員が用意し、歓迎会を催しました。

翌年からは学友会の新入生歓迎会実行委員が準備をして体育館で実施、ビンゴの景品があまりにも高価であるとの批判をうけ、あるいは学内団体の動画による紹介、新会員の勧誘のためのブースの設置、交流を深める各種ゲームの実施など、毎年知恵を絞ったプログラムで新入生を歓迎してきました。毎年恒例の「じゃんけん汽車ぱっぽ」には、緊張していた表情から互いにすっかり打ち解け、たくさんの笑顔を見ることができます。

恵み野キャンパスでは教員と学生との新入生歓迎会がさらに開催され、ペットペトルでの乾杯が盛り上がります。



# 学内団体の変遷と学内ボランティア

2014年学内団体一覧		
NO.	サークル名	設立
01	ボランティア部	2014
02	スponティアサークル	2014
03	茶道サークル	2014
04	バレーボールサークル	2014
05	バトミントンサークル	2014
06	劇団アンデルセン	2014
07	漫画・イラスト研究	2014

2015年学内団体一覧		
NO.	サークル名	設立
01	ボランティア部	2014
02	スponティアサークル	2014
03	茶道サークル	2014
04	バレーボールサークル	2014
05	バトミントンサークル	2014
06	劇団アンデルセン	2014
07	漫画・イラスト研究部	2014
08	スケボーサークル	2015
09	アドベンチャー部	2015
10	バスケットサークル	2015
11	動画作成サークル	2015
12	サッカーパー	2015

2016年学内団体一覧		
NO.	サークル名	設立
01	ボランティア部	2014
02	スponティアサークル	2014
03	茶道サークル	2014
04	バレーボールサークル	2014
05	バトミントンサークル	2014
06	劇団アンデルセン	2014
	廃止・解散	
07	スケボーサークル	2015
	廃止・解散	
08	バスケットサークル	2015
	廃止・解散	
09	サッカーパー	2015
10	音楽サークル	2016
11	Let's yoga	2016
12	アウトドアサークル	2016
13	スポーツ&レジャーサークル	2016
14	ボルダリングサークル	2016
15	ボディ・コンディショニング	2016
16	スポーツサークル	2016
17	バレーボール部(恵み野)	2016
18	卓球サークル	2016
19	SubRe:(さぶれ)	2016
20	軟式野球部	2016
21	日本医療大学CBRサークル	2016
22	真栄バスケサークル	2016
23	テニポン	2016

2017年学内団体一覧		
NO.	サークル名	設立
01	ボランティ	
02	スponティ	
03	茶道サーク	
04	バレーボー	
05	バトミント	
06	バスケット	
07	サッカーパ	
08	音楽サーク	
09	Let's	
10	スポーツ&	
11	ボルダリン	
12	スポーツサ	
13	バレーボー	
14	卓球サーク	
15	軟式野球部	
16	日本医療大	
17	真栄バスケ	
18	テニポン	
19	恵み野バド	
20	ダンスサー	
21	写真サーク	
22	医療研究会	
23	ユナイテッ	

新型コロナ・ウィルスの感染防止のために、現在活動休止・自粛をお願いしている日本医療大学の学内団体についてお伝えします。

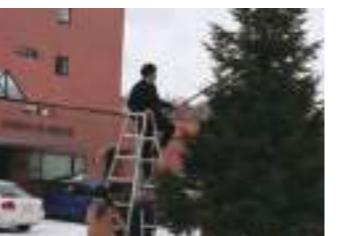
## 学内ボランティア活動

学友会（8ページ参照）が中心となり学内では様々なボランティア活動が行われてきました。

毎年作業が行われてきたのが真栄キャンパスの環境整備や賑わいの創出活動です。

特に春のプランターへのマリーゴールドの植栽による花文字の作成や冬場の雪明りの道作り、校舎や玄関前のイルミネーションの設置は毎年評判の高い活動です。

また大学祭の時にはユニセフ募金、フード・バンクフェアなどを実施してきました。



## 学外ボランティア活動

様々な活動を学内団体として、あるいは個人で実施しています。特に全学的な活動はアンデルセングルメ祭りへのボランティアで毎年50名前後の学生が参加をします。

2019年は近隣から6,000人あまりの人をお客様に迎え、120人の社会人・高校生・他大学のボランティアと一緒に38人の学生が模擬店の販売員や会場係、駐車場の案内人として参加しました。

また学友会も20人のスタッフ・ボランティアがキッズ・ワールドを開店しました。



学生が参加したボランティア一覧		
とんでも車いす(タイ)		
とんでも車いす(ネパール)		
北海道マラソン		
清田こども祭り		
盲導犬協会		
あしなが募金		
アンデルセングルメ祭り		

2年目からはリハビリテーション学科がスタートし、会場を北海道立総合体育センター（北海きたえーる）のサブアリーナに移し実施しました。学生、教職員200名あまりの参加者が、バレーボール、ドッジボール、フットサル、障害物競走、長縄の種目を競いました。教職員の団体もあり、おいしいお弁当が学友会から全員に配布されました。当時は恵み野には専門学校生数が大学生の在学数を上回っていましたため、恵み野では専門学校の球技大会にも学生たちは参加させてもらっていました。

第3回からは、診療放射線学科がスタートして3学科に増えたことで、会場をきたえーるのメインアリーナに移しました。規模の大きな体育大会となり、競技種目はほとんど変わりませんが、全学の参加学生が青色・赤色・白色・黄色の4チームに分かれて競うようになりました。競技への教職員の参加はなくなり、記録や



救護室運営のような後方支援のみを担当するようになりました。その分、学生たちの自立力は高まってきたましたが、予算規模は大きくなりました。

結局、各学科の学年進行で全学の学生数は毎年200人規模で増加しましたが、体育大会は1・2年生中心の参加となり、競技人数は現在横ばいとなっていますが、ただメインアリーナの競技人口のキャパシティも既に限度となっています。

他大学の様に、学内の施設を使い数日に分けて実施する、あるいは球技大会とする、陸上競技種目を屋外で展開するなど様々なやり方が考えられますが、来年度に向けて新たなキャンパスの施設を見据えながら2020年の第8回体育大会の在り方を学生たちには議論してもらいたいと思います。



この日ほど、元気な学生たちを見ることはできません。

# 大学生としての学内自治組織 学友会

日本医療大学学生は全員が学友会会員です。会費を毎年 3,000 円徴収し、各種イベントの実施、学内団体の活動助成、学位授与式後の卒業を祝う会への参加費助成などにその会費を当てています。また 5 周年記念 Live などの記念事業のために予算を繰越して使用します。

来年度はついに真栄キャンパスと恵み野キャンパスが一つのキャンパスに移動します。学友会の新たな一步が展開し、学生が一丸となってより良い学生生活を実現する自治活動が期待できます。



2014年初めての総会



本部会の引継ぎ

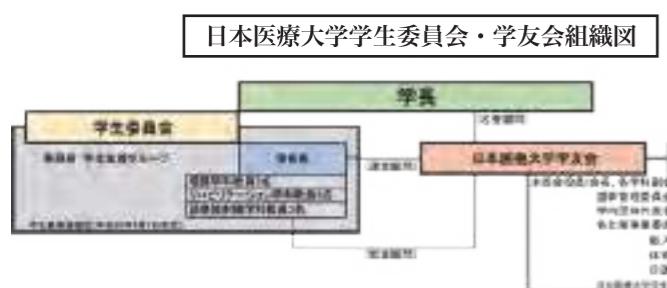


2019年の総会

2014年5月12日、第1回学友会総会が開催されました。看護学科だけでしたから教室で実施され、19人の立候補者の中から第1代会長として難波さんが会員に承認されました。役員は副会長2人、監査・庶務2名、書記3名、会計2名、広報2名です。

また日本医療大学の学友会として年間開催予定の行事案も提案通り全て承認されました。これらの行事は昨年度まで第6回を無事にむかえています。

本部会員は上記の役員のほかに各クラス代表1名によって構成されますが、大学や教職員の学生委員会と折衝し、大学祭やきたえーるメインアリーナでの体育大会を支えてくれました。またイベントごとに多くの学生たちがボランティアとしてスタッフ参加してくれています。



## これまでの学友会会長達



第1代 難波直喜さん 第2代 静谷遼真さん 第3代 津坂夏美さん



第7代 逢見潤平さん



第4代 富樫世理花さん 第5代 大坪篤拓さん 第6代 千谷卓充さん

おまけ

春先になると真栄キャンパスでは毎年狐の親子を見かけます。

エキノコックスの罹患が懸念されますから、見かけても餌付けをしようとしたりしてはいけません。また、鹿の姿も見かけます。車通学をする学生はいきなり飛び出してくれる鹿に気を付けてください。

あずまい

北海道の方言で、居心地が良いという意味

：お願い

本誌紙面に掲載されたすべての情報は転載・コピー等を禁止いたします。



7年学内団体一覧		
NO.	サークル名	設立
01	ボランティア部	2014
02	スponティアサークル	2014
	廃止・解散	
03	バレーボールサークル	2014
04	バトミントンサークル	2014
	廃止・解散	
05	バスケットサークル	2015
06	サッカー部	2015
07	音楽サークル	2016
	廃止・解散	
08	ヨガ	2016
	廃止・解散	
09	レジャーサークル	2016
10	スポーツ&レジャーサークル	2016
11	ボルダリングサークル	2016
	廃止・解散	
12	卓球サークル	2016
13	バドミントンサークル	2016
14	バレー部（恵み野）	2016
15	バドミントンサークル	2016
16	卓球サークル	2016
17	卓球部（恵み野）	2016
18	バドミントンサークル	2016
19	日本医療大学卓球部（オーシャンズ）2018	2018

2018年学内団体一覧		
NO.	サークル名	設立
01	ボランティア部	2014
02	スponティアサークル	2014
	廃止・解散	
03	バレーボールサークル	2014
04	バトミントンサークル	2014
	廃止・解散	
05	バスケットサークル	2015
06	サッカー部	2015
07	音楽サークル	2016
	廃止・解散	
08	ヨガ	2016
	廃止・解散	
09	レジャーサークル	2016
10	スポーツ&レジャーサークル	2016
11	ボルダリングサークル	2016
12	卓球サークル	2016
13	バドミントンサークル	2016
14	バドミントンサークル	2016
15	テニス	2016
16	恵み野バドミントンサークル	2017
17	卓球部	2017
18	バドミントンサークル	2017
19	日本医療大学卓球部（オーシャンズ）2018	2018

2019年学内団体一覧		
NO.	サークル名	設立
01	ボランティア部	2014
02	スponティアサークル	2014
	廃止・解散	
03	バレーボールサークル	2014
04	バトミントンサークル	2014
	廃止・解散	
05	バスケットサークル	2015
06	サッカー部	2015
07	音楽サークル	2016
	廃止・解散	
08	ヨガ	2016
	廃止・解散	
09	レジャーサークル	2016
10	スポーツ&レジャーサークル	2016
11	ボルダリングサークル	2016
12	卓球サークル	2016
13	バドミントンサークル	2016
14	テニス	2016
15	恵み野バドミントンサークル	2017
16	卓球部	2017
17	バドミントンサークル	2017
18	日本医療大学卓球部（オーシャンズ）2018	2018
19	スケート部	2019

## 学内団体史

2014年、7つの学内団体からスタートし、2016年の申請では一気に14団体が設置されました。しかし23団体をピークに、その後は申請数が減少し、現在の日本医療大学の学内団体は18となっています。

2014年にスタートした団体は過去5年間で3つが廃止・解散となりました。下級生の入会がないまま、会員が全て卒業をして廃止となった団体もあれば、活動への熱意を失って解散となつた団体もあります。

茶道サークルは隣の福祉施設に茶室と水屋があり、畳の張替えをして、道具を前身の専門学校の備品や茶道をしていた教職員から集めて揃えましたが、経験者がいなくなり廃止となりました。劇団アンデルセンも学祭には舞台で演目を披露しましたが、やはり経験者が活動を停止したことで解散となりました。漫画・イラスト部も学祭で展示会をし、学祭のパンフレットを作成していましたが、後輩が入部せず解散しました。また1年の設置で継続申請をしなかつたいくつかの団体もあります。

## 学内団体を設置するためには

仲間を5人集め、教職員の誰かに顧問を依頼します。手続きは毎年7月末と1月末です。来年の新キャンパスの移転時には、両キャンパスで別れて活動していた学内団体が集合します。本学の学内団体の特徴は、スポーツ系が多く、文化系が少ない点です。是非、新たな活動体の組織づくりに挑んでほしいものです。

